

# 口腔内の縫合において 針の長さが絶妙に使いやすい 直針付縫合糸



弘前大学大学院医学研究科歯科口腔外科学講座  
教授 小林 恒 先生

口腔内の創の縫合を正確にそしてきれいな治癒に導くために個人的には 5-0 ナイロンを好んで使用している。通常の口腔粘膜の縫合には湾曲針で問題ない。しかし、口腔内の切開を歯肉の辺縁に入れることも多く、辺縁切開の粘膜縫合の際には湾曲針では針の先端を舌側および口蓋側粘膜へ貫通させにくく、また思い通りの部位に針の先端を誘導するのに苦労することも多い。その際に直針は便利であるが、従来 5-0 ナイロン付きの直針がないため 4-0 ナイロンを使用していた。このベアロン針は 5-0 ナイロンに針長 17 mmの丸針直針が付与された縫合針である。針の長さ的にも、長すぎず短すぎずという絶妙な長さの縫合針であり、硬い歯肉への刺入も容易で非常に使いやすくてきている。口腔内の縫合は狭い術野で行う必要があるため、針の大きさや湾曲の程度などの細かい点を使い勝手に大きく影響する。この針は一度使うと手放せなく優れた縫合針である。



埼玉よりい病院歯科口腔外科  
部長 神戸 智幸 先生

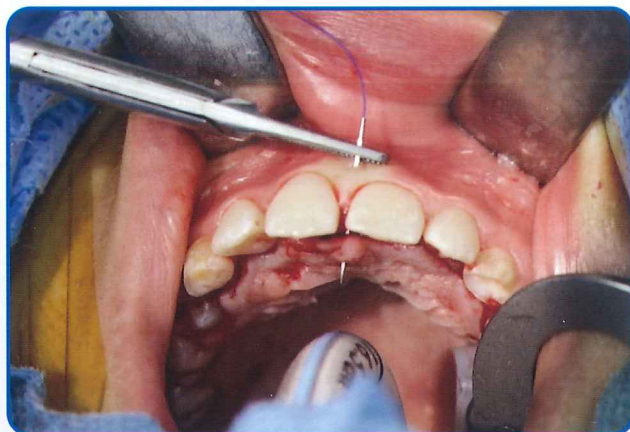
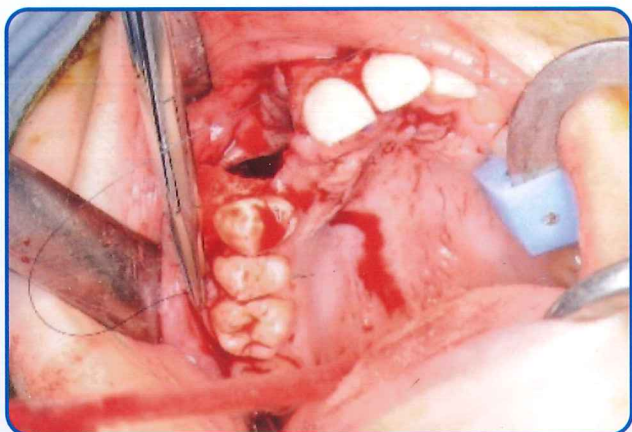
当該直針付き吸収縫合糸 (4-0) について、直針の針先は組織通過性に長けており、かつ適度な強度と柔軟性の特性を併せ持っている。そのため狭小で薄い歯間歯肉組織部の通過には組織損傷を最小限に抑えることができ、最適でストレスなくスムーズである。また、柔軟性と進展性に優れた吸収性モノフィラメントを使用しており、歯肉を引っ張りすぎず適度な張力で心地いい結紮が可能である。モノフィラメントのためプラークやバクテリアが付着しにくく感染による治癒の阻害を防ぐとともに、乳幼児や小児のような抜糸を嫌う症例では自然吸収を待つことが可能であるため非常に重宝している。

# 口腔内縫合用ベアー直針付縫合糸

## ◆ 商品特徴

- 縫合針は、丸針で作られているため、歯間歯肉組織部の通過には、組織損傷を最小限に抑えることができ、最適でストレスなくスムーズに縫合が行えます。
- 縫合糸は、モノフィラメントナイロン糸（ベアロン）とモノフィラメント吸収糸（モノスティンガー）の2種類をご用意しております。

## ◆ 術中画像



## ◆ 規格

仕様	商品コード	入り数	標準価格
丸針17mm、直針 5-0モノフィラメント黒ナイロン、 45cm	VT17A05M-45	10本	6,000円
丸針17mm、直針 4-0モノフィラメント紫合成吸収糸、 45cm	VT17MV04M-45	12本	12,000円

販売名：ポリジオキサノンモノフィラメント合成吸収糸 承認番号：22200BZX00091000  
販売名：ナイロン糸付縫合針 承認番号：16000BZZ01909000